

令和 8年度予算見積調書

課室名：生徒指導課
 担当名：総務・不登校対策・中退防止担当
 内線：6744 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P64	メタバース空間を活用した不登校児童生徒等支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	いじめ・不登校総合対策費	
事業期間	令和 7年度～	根拠法令	義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律第11条			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
						分野施策	0503 多様なニーズに対応した教育の推進	SDGsターゲット	4-5
1 事業概要 不登校児童生徒等の多様な教育機会の確保や相談・指導の機会を充実するため、メタバースプラットフォームを構築する。 メタバース空間を活用した多様な教育機会の確保 90,541千円				5 事業説明 (1) 事業内容 メタバース空間を活用した多様な教育機会の確保 90,541千円 不登校児童生徒等の多様な教育機会の確保や相談・指導の機会を充実するため、メタバースプラットフォームを構築する。 (2) 事業計画 メタバース空間を活用した多様な教育機会の確保 メタバース空間に県が運営する共通フロアを構築し、カウンセラー等による専門的な相談等を行う。 また、参画する市町村が運営する市町村フロアにて、児童生徒に対する学習支援等を行う。 (3) 事業効果 県がメタバースプラットフォームを構築することで、県内市町村が不登校児童生徒等に対するオンライン空間での支援に取り組むことができるようになる。 アバターを用いたオンライン空間上での支援により、これまで対面での支援に繋がっていなかった児童生徒等に支援が届くようになる。 不登校児童生徒等が日常的にメタバース空間を利用することで、生活リズムの改善等が図られ、学校復帰や社会的自立に向けた活動のきっかけを掴むことができるようになる。 【活動指標(アウトプット)】県が市町村フロアを設置。 各市町村が域内の不登校・不登校傾向の児童生徒に対して、個別指導、講義等を実施 【成果指標(アウトカム)】「小・中学校に在籍する不登校児童生徒が学校内外の機関等で相談・指導を受けた割合」の向上					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	90,541							90,541	57,288
前年額	33,253							33,253	

事業内訳書

事業名	メタバース空間を活用した不登校児童生徒等支援事業		
単位事業名	メタバース空間を活用した多様な教育機会の確保	予算額	90,541千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	90,541	57,288	
合計	90,541	57,288	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	90,541	57,288	メタバースプラットフォーム構築等業務委託
合計	90,541	57,288	